

3月の各種相談

- 行政相談**
日時 3月25日(月) 9:30~11:30
場所 中央公民館
- 消費生活・多重債務相談**
日時 毎週月~金曜日(祝日除く) 9:00~16:00
場所 住民グループ
※月・木曜日は消費生活相談員が対応します。
電話相談・問合せ ☎079(435)1999
- 司法書士による多重債務相談(予約が必要)**
日時 3月14日(木) 13:30~15:30
場所 中央公民館
申込み・問合せ 消費生活相談コーナー ☎079(435)1999
- 納税と相談**
日時 毎月第4日曜日 9:00~12:00, 13:00~17:00
場所 税務グループ(中央公民館側通口)をご利用ください)
- 税務相談(予約が必要)**
日時 3月1日(金) 13:00~15:00
場所 播磨町商工会館
対象 商工業者
申込み・問合せ 播磨町商工会 ☎079(435)1630
- 法律相談(予約が必要)**
日時 3月5日(火)、19日(火) 10:00~12:00
3月11日(月)、25日(月) 18:00~20:00
場所・申込み 中央公民館 (窓口での申込順。電話予約不可)
- 心配ごと相談**
日時 毎週火曜日(祝日除く) 13:00~16:00
場所 福祉しあわせセンター
- 困りごと相談**
日時 3月14日(木)、28日(木) 13:00~15:00
場所 福祉しあわせセンター
- 人権相談(常設相談)**
日時 毎週月~金曜日(祝日除く) 8:30~17:15
場所 神戸地方方法務局加古川支局 ☎0570(003)110 (全国共通ナビダイヤル)
- 地域ふれあい介護相談**
日時 3月17日(日) 10:00~12:00
場所 CHIAKIIほおずき播磨 (東野添2丁目18番6号)
問合せ CHIAKIIほおずき播磨 ☎078(949)1566
- 福祉相談**
日時 毎週水曜日 13:30~16:00
場所 福祉しあわせセンター
- 知的障がい者(児)相談**
日時 毎月第2土曜日 10:00~11:30
場所 石ヶ池公園パークセンター
- 身体障がい者相談**
【相談員】(敬称略)
政本 和子【古宮236番地の4】 ☎・☎ 079(437)0037
※☎・☎はNPO法人アエンソにかかります。
加藤 和子【北本荘1丁目3番13号】 ☎・☎ 079(437)6417
- 障がい福祉なんでも相談室**
場所 福祉しあわせセンター
知的障害 毎週火曜日 10:00~12:00
身体障害 毎週木曜日 10:00~12:00
精神障害 毎週金曜日 10:00~12:00
※祝日を除きます。
申込み 電話で予約が必要 ☎079(435)2361
- 母子家庭相談(予約が必要)**
日時 3月13日(水)、27日(水) 10:00~16:00
場所・申込み 福祉グループ
- 主任児童委員による子育て相談**
日時 3月25日(月) 13:30~16:00
場所 福祉しあわせセンター
- 子育て相談(事前問合せ必要)**
両施設で来所相談を行っています。(祝日除く)
◎北部子育て支援センター
日時 毎週月~土曜日 10:00~16:00
電話相談・問合せ ☎078(944)0717
◎南部子育て支援センター
日時 毎週月~土曜日 10:00~16:00
電話相談・問合せ ☎079(437)4188
- 臨床心理士による子育て相談**
予約が必要です。
◎北部子育て支援センター
日時 3月6日(水) 13:30~15:30
申込み・問合せ ☎078(944)0717
◎南部子育て支援センター
日時 3月13日(水) 13:30~15:30
申込み・問合せ ☎079(437)4188
- 子どもの悩み相談**
日時 毎週月~金曜日 9:00~16:00
場所 役場第2庁舎3階 ふれあいルーム(電話可) ☎079(437)4141

3月は自殺対策強化月間です

わが国の年間の自殺者数は、平成10年より平成23年まで14年連続して3万人を超えています。しかし、平成22年から毎年前年より約千人減少しており、平成24年中の自殺者数は3万人を下回ることができました。

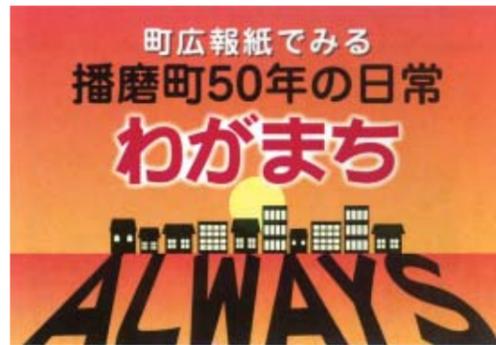
自殺の動機は、健康問題が最も多く、次いで経済・生活問題、家庭問題、勤務問題、男女問題、学校問題、その他の順になっています。

多くの自殺は様々な悩みにより心理的に追い込まれ、最終的にうつ病やアルコール依存症などの病になり、適切な判断ができない状況になる場合が多いようです。世界保健機関は「自殺は、その多くが防ぐことのできる問題である」と明言しているように、自殺は社会の努力により避けることのできる死であるというのが、世界の共通認識となりつつあります。

自殺を考えている人は悩みをかかえながらもサインを発しています。そのサインに周囲の人が気づき、早期に適切な相談先や治療につながれば、大切ないのちを守ることができます。

あなたの周りに一人で悩みを抱えている人がいないでしょうか、もし気になる人がいたら、次のような相談先がありますので、一度利用してみるよう声を掛けてみてください。

- ▶相談先
- ◎こころのケア相談(専門医による相談・予約制)
加古川健康福祉事務所 地域保健課 ☎079(422)0003
- ◎兵庫県立精神保健福祉センター(こころの健康電話相談)
☎078(252)4987
- ◎はりまいのちの電話
14:00~深夜1:00 ☎079(222)4343
- ◎兵庫県のちと心のサポートダイヤル
月~金(18:00~翌8:30)、土・日曜、祝日(24時間) ☎短縮ダイヤル #7500
ダイヤル電話、携帯電話、IP電話、PHSの方は ☎078(382)3566
- ◎いのちの電話フリーダイヤル
毎月10日(8:00~翌8:00) ☎0120(738)556



町制50周年を記念し、広報誌の紙面から播磨町の50年をふりかえります。

第10回 平成9年5月号



▶問合せ 企画グループ ☎079 (435) 0356

平成9年5月号は、初めてカラーページを盛り込んでお届けした号です。表紙には、町制施行35周年記念式典で、名誉町民章を受章された元町長の田中松太郎さんに、当時の佐伯忠良町長から表彰状を贈る様子が掲載されています。町制施行35周年にあわせて募集された中学生の「わがまち」播磨「私の提言」を抜粋します。



「わがまち」播磨「私の提言」 私たちの播磨町

私はこの播磨町に、遊園地や動物園や他さまざまなものをつくってほしいと思います。私は、小学二年生の時、

大阪からここ播磨町に引っ越してきました。私は、播磨町にきてびっくりしました。緑は多いし、道を車で走ると田んぼや畑が目につくのです。大阪では、こんな風景はなかなか見れません。それに、少し歩くと海です。そこではたくさんの方が魚つりをしています。だから、私はこの自然いっぱいの播磨町に遊園地などとても大きなものをつくるのは、あまり望んでいません。もし、播磨町に遊園地ができたなら緑が減り、町は観光客でたくさんになりゴミが道に捨てられるようになっていくの、大阪みたいになっていくの、きれいな播磨町がよくなって

まいます。だから私は、遊園地などをつくるのは望んでいないのです。私の家の前も、以前は田んぼと畑があったのに、今は家がたつてしまいました。その他いろいろ、田んぼだつたところでは、家がたつてられています。このままだと田んぼや畑はきえて家だらけになってしまいます。だから何かをたてるよりも、私は植物を育てて播磨町を緑いっぱいにし、播磨町以外からきた人々をびっくりさせるほどのいろんな所、公園などに緑を増やしてほしいと思っています。



▲喜瀬川



▲野添北公園



※この下敷きは、対象児童のみの配布です。



▲であいの道

▶問合せ 都市計画グループ ☎079 (435) 2366

小学生が選んだ播磨町のいい景色 「わたしたちが選んだ播磨町のいいところ！」

都市計画グループは、景観事業として住民の皆さんから広く写真を提供していただきながら、「播磨町のいいところ写真展」を開催してきました。

今年の度は、小学校でも写真を展示し、わがまちについて学習する3年生に「いいところ」を選んでもらいました。次年度も、「いいところ写真」の募集を予定しています。

将来の播磨町を担う子どもたちに、もっと町を知ってもらい、今の風景を大切にしたいと思うきっかけづくりとなることを願って、子どもたちが選んだ写真を使った下じきを作成し、学習の一環として3・4年生に配布しました。